

全附連 29-032
平成 29 年 6 月 30 日

国立大学附属学校

校 園 長 様 副 校 園 長 様
P T A 会 長 様 教 育 後 援 会 会 長 様

全国国立大学附属学校 P T A 連 合 会
会 長 呉 本 啓 郎
実 行 委 員 長 小 塚 泰 博

全国国立大学附属学校 P T A 連 合 会 （全 附 P 連）

P T A 研 修 会 第 8 回 全 国 大 会 二 次 案 内

開 催 ス ロ ー ガ ン

**子どもたちとこの国の未来のために
～附属学校の果たすべき役割とは～**

向夏の候、貴校園におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は全附P連の活動にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年の第7回全国大会には、約900名の皆様にご参加をいただきました。P T A 研 修 会 の 全 国 大 会 も 東 京 開 催 が 定 着 し、その開催意義を再認識すると同時に、今回の研修会全国大会を通じ、直面する教育課題、P T A の 運 営 な ど に つ い て 討 議 や 意 見 交 換 を 行 い、保 護 者 間 お よ び 保 護 者 と 教 師 の 相 互 理 解 を 深 め、P T A の 運 営 と 活 動 の 充 実 ・ 発 展 を 図 り たい と 考 え て い ま す。

今年度の第8回全国大会では、「子どもたちとこの国の未来のために～附属学校の果たすべき役割とは～」を開催スローガンに掲げ、附属の現状と今後について参加者が皆で考え、セミナー・講演会・テーマ別分科会・情報交換会などを通して第8回全国大会をさらに有意義な研修会にすべく、企画・準備を進めているところです。

第8回全国大会の概要を下記のとおりご案内しますので、P T A 役 員 ・ 教 育 後 援 会 役 員 ・ 教 職 員 の 皆 様 方 の 多 数 の ご 来 場 を 心 より お 待 ち 申 し 上 げ ま す。

◎副校長様におかれましては、当ご案内を2部コピーのうえ、貴校園に1部を保管いただき、P T A 会 長 様 と 教 育 後 援 会 会 長 様 あ て に それ ぞ れ 1 部 を 速 や か に お 渡 し く だ さ い ま す よ う ご 協 力 お 願 い 申 し 上 げ ま す。

記

1. 開催目的 (1)日本の公教育を国立大学および附属学校と共に支える全国規模のPTA組織として、その社会的な責任と役割を対外的に強く表明する。
(2)日本の将来を背負って立つ子どもの健やかな成長のために、附属学校のあり方を構築していく。
(3)全国の附属学校関係者が一堂に会して、直面する全国共通の問題を認識し、解決への道を協議するとともに、さまざまな事例や取り組みを共有する。
2. 開催日時 **平成29年9月29日(金)～9月30日(土)**
3. 開催場所 ハイアットリージェンシー東京 地下1階
〒160-0023 東京都新宿区西新宿2-7-2 TEL 03-3348-1234
4. 参加対象者 全国国立大学附属学校の保護者および教職員・教育後援会関係者
5. 登録料 **学校登録料 25,000円/校**
個人登録料 1,000円/人
(幼稚園、特別支援学校は、両登録料ともに無料。
また、特別支援学級のみ参加の場合も登録料は無料です。)
*9月29日(金)情報交換会(交流会)参加費 **8,000円/人**
*参加費用のお振込みは、**同封の払込取扱票**にてお願いします。
注：登録料/校とは、連盟登録における学校単位のことです。
単位PTAあたりではありませんのでご注意ください。
6. 参加申込方法 今回も昨年と同様、全附属HPからのお申込みになります。
登録・払込方法等の詳細は、9～10頁をご参照ください。

※お問い合わせは pta_kensyukai@yahoo.co.jp までお願いします。

7. 申込締切 **平成29年7月25日(火)**
*各学校園から一人でも多くの皆様にご参加いただきたく存じます。
*参加者概数把握のため、上記締切までのご登録をお願いします。
*教育後援会会長会には、会長でなくても出席いただけます。教育後援会の役員、その他現役PTA役員の方のご登録も承ります。
*会場の都合上、収容できない人数の登録があった場合は、人数制限をさせていただく場合もございます。あらかじめご了承ください。
*全附P連(主催者)側にて、会場(ハイアットホテル)内の保険は出席者全員にかけておりますが、参加者の自宅から会場までの保険はかけておりません。
8. 払込期限 **平成29年9月15日(金)**
*会場(ハイアットホテル)準備の都合上、払込期限を過ぎてのキャンセル・返金には応じかねますので、ご理解の程お願いいたします。
*返金が生じた場合、各学校園への送金は、9月19日(火)以降に対応させていただきます。

第1日目 <9月29日(金)>

11:30	12:20	13:50	14:10	15:25	16:00	17:35	18:10	20:00
受付	開会行事・ オープニング セミナー 90分	休憩	基調講演 阪根健二教授 (鳴門教育大学大学院) 75分	休憩	テーマ別分科会1~3 特別支援部会 教育後援会会長会 95分	休憩	情報交換会 110分	
<パネル展示>絵画コンクール入賞作品・特支記念品展示								

*昼食をお取りになってからご参加ください。

< 第1日目 受付 > (11:30~12:20)

プログラム開始後も、随時受付いたしますが、なるべく12:20までにご参集ください。
*スーツケース等のお手荷物は、ハイアットのクローク(地下1階など)にお預けいただけます。

< パネル展示 >

絵画コンクール入賞作品 と 特支記念品の展示 (2日間)

2日間にわたり絵画コンクール入賞作品、特別支援学校・学級製作記念品を展示します。全附P連主催の絵画コンクールの入賞作品、ならびに特別支援学校・学級製作の記念品の展示コーナーを開設。どちらも力作で、その制作過程も見ていただけるよう工夫します。

1. 開会行事・オープニングセミナー (12:20~13:50)

現在、文部科学省にて「国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議」が開催されており、今夏にも報告書の取りまとめが予定されています。田中一晃全附連事務局長が委員として参画しており、全附P連からも正副会長と顧問が傍聴し、その動向を注視しているところです。附属学校存続のキーワードは「確かな貢献」であり、国と地域にとって「なくてはならない存在」であることが求められています。オープニングセミナーでは、学校連盟、PTA連合会の代表などがパネリストとして登壇し、それぞれの立場から今できることとすべきこと、この国の未来のために必要とされる附属学校とは? などについて討論する予定です。

2. 基調講演 (14:10~15:25)

演題: 「いじめ問題にいかに対応すべきか」

講師: 阪根 健二 氏

(鳴門教育大学 大学院 高度学校教育実践専攻 地域連携センター 所長)

いじめ問題が今なお、大きな課題としてのしかかっています。
学校のみならず、PTAとしてもいかにいじめ問題に取り組むかを考えます。

* 阪根健二先生は、ご自身と3人のお嬢様も香川大学附属坂出学校園のご出身で、PTA副会長も経験されています。



阪根 健二氏 プロフィール

昭和 29 年 (1954 年)	神戸市生まれ
昭和 54 年 (1979 年)	東京学芸大学 大学院 教育研究科 修士課程修了
同	香川県坂出市内の中学校に勤務
平成 9 年 (1997 年)	香川県教育委員会 義務教育課 主任指導主事
平成 14 年 (2002 年)	坂出市立 ^{はくほう} 白峰中学校 教頭
平成 15 年 (2003 年)	香川大学 教育学部 助教授
平成 20 年 (2008 年)	鳴門教育大学 大学院 学校教育研究科 准教授
平成 23 年 (2011 年)	同 教授 (現職)
平成 28 年 (2016 年)	鳴門教育大学 地域連携センター 所長 (併任)

専門分野：

学校教育学 (学校危機管理、防災教育、教職論、生徒指導)、
社会教育、N I E (新聞活用教育)

学会：

日本NIE (エヌアイイー) 学会 (会長)
日本生徒指導学会 (全国常任理事)
日本安全教育学会 他

著書：

教育関係者が知っておきたいメディア対応
(北大路書房 2009)
教師ほど素敵な仕事はない (北大路書房 2009)
学校の危機管理 最前線 (教育開発研究所 2010)
学校防災 最前線 (教育開発研究所 2012) 他

3. テーマ別分科会 (16:00~17:35)

校種を超えた3つのテーマと、特別支援部会、教育後援会会長会を開催します。各分科会では、講演や内容説明の他、参加者同士のディスカッションも予定しています。
*参加者毎に、テーマをお選びになりご登録ください。

a) <分科会1> 養護教諭・保健室から見た子どもたちの健康課題・健康格差

講師 竹鼻ゆかり先生 (東京学芸大学教授)

本分科会では、講義と演習により、現代の子どもたちの健康課題と健康格差について、共に学び考えます。演習では、参加型・問題解決型学習方法である「ケースメソッド教育」によって、子どもの健康課題や解決の方途についての理解を深めます。

*ケースメソッド教育とは、「ケース(事例)」を使った「討論(ディスカッション、討議)」方式の授業・講習・研修などのことです。参加者が判断や対処を求められるケースを教材に、討論(ディスカッション、討議)しながら当事者の立場に立って、自分ならばどのように行動すべきかをより適切に判断できるようになることを目的とする参加型、問題発見・解決型の学習手法です。

b) <分科会2> スマートフォン普及をふまえた新しいネットいじめ対策

講師 藤川大祐先生 (千葉大学教授)

平成25(2013)年以降、中高生などにスマートフォンが一気に普及し、利用の長時間化、犯罪の認知件数の増加、そしてネットいじめの深刻化といった問題が顕著なものとなっています。また、同年のいじめ防止対策推進法施行以降も、いじめ問題への対応にはまだ課題が多く、今後も実効性のある対策が求められています。千葉県柏市の全中学校で実施される「脱いじめ傍観者教育」の教材の紹介も含め、青少年のネット利用の状況とネットいじめを含むいじめ防止対策のあり方について、具体的なお話を伺います。また、パネリストにご登壇いただき、当分科会のテーマについて会場トークセッションも行う予定です。

c) <分科会3> きらめく個性は宝物 子どもが輝くインクルーシブ教育 ~わが子を理解し最良のサポーターであるために~

講師 高橋幸子先生 (國學院大学教授 前筑波大学附属大塚特別支援学校副校長 臨床発達心理士)

成長するにつれ、皆それぞれに個性を発揮し始めます。時には理想として描くわが子の姿とズレが生じてきます。何かと気になって、つい干渉が過ぎたり否定的になったり、「私の育て方が間違っていたのかしら」と自分を責めたりすることがあるかもしれません。もう一度、わが子の素敵さを見直し、最良のサポーターであるために、日々の関わりのちょっとした工夫について、障害疑似体験を通して4人の子育てを経験された先生と一緒に考えます。

d) 特別支援部会

特別支援学校・学級ならではの課題を共有し、解決への糸口を探します。
子どもたちの健全な育成のために、生活習慣（睡眠・食事・運動等）の工夫、就労支援、PTA活動等について、参加者全員で考えていきます。

e) 教育後援会会長会

全国の各教育後援会が持つ固有の成果、課題を集約し、最善の事例（best practice）を共有するとともに、附属学校の未来像がどうあるべきか、その財政基盤の観点から議論、模索する。

*テーマの選定と参加登録にあたって（お願い）

- ◎各学校園から一人でも多くの皆様にご参加いただきたく存じます。そして、＜分科会1＞、＜分科会2＞、＜分科会3＞、それぞれの分科会に、偏りのないようバランス良く参加・ご登録のうえ、皆様で情報交換していただければ幸いです。
- ◎特別支援部会は、特別支援学校・学級からの参加者が主な対象となりますが、その他の学校園の方も、参加登録いただけます。
- ◎教育後援会会長会は、教育後援会会長・役員の方が主な対象となりますが、いずれ役員になられるであろう現役PTA役員の方等どなたでも参加登録いただけます。
- ◎会場の都合上、収容できない人数の登録があった分科会は、人数制限をさせていただきます。あらかじめご了承ください。

4. 情報交換会（18：10～20：00）

今年も情報交換会（交流会）を着席にて開催します。＜参加費 8 千円／人＞
附属他校園の方々と校種ごとに着席し、食事をしながら情報交換していただきます。
全国の附属学校園のPTA役員・先生方と楽しく情報交換できる貴重な機会です。
この交流会で、ぜひ有益な情報を得て、貴校園に持ち帰っていただければ幸いです。

第2日目 <9月30日（土）>

8:00	8:30	9:15	10:30	10:45	12:35
地区別会長会 (一部地区)	受付	本講演 井村 雅代 氏 (シンクロ日本代表 ヘッドコーチ) 75分	休憩	クロージングセミナー・ シンポジウム 中村 克樹 氏 (京都大学霊長類研究所教授) 110分	
		<パネル展示> 絵画コンクール入賞作品・特支記念品展示			

< 第2日目 受付 > (8：30～9：15)

プログラム開始後も、随時受付いたしますが、なるべく9：15までにご参集ください。
*スーツケース等のお手荷物は、ハイアットのクローク（地下1階など）にお預けいただけます。

5. 本講演 (9:15~10:30)

演題：「人を育てる ～ 愛があるなら叱りなさい ～」

講師： 井村 雅代 氏 (シンクロナイズドスイミング 日本代表ヘッドコーチ)

井村 雅代氏 プロフィール



一般社団法人 井村シンクロクラブ 代表理事
大阪府出身

天理大学体育学部卒業

元大阪市中学教諭

10年間のシンクロナイズドスイミングの選手を経て、1974年よりコーチをはじめ。1978年から日本代表コーチも務め、1985年には井村シンクロクラブを設立。シンクロナイズドスイミングがオリンピック種目になってから、9大会連続メダル獲得を成し遂げ、立花美哉や武田美保をはじめ、多くのオリンピック選手を育てている。北京五輪では中国代表コーチを努め、中国シンクロ初のメダル獲得に導き、ロンドン五輪では中国初となるデュエットでのメダル獲得も導いた。アメリカ、カナダ、韓国、スペイン等の国に講師として招かれ、2013年5月から7月の世界選手権までイギリスにコーチとしてわずか2カ月の指導で好成績を収めた。2014年4月からは日本代表コーチに復帰し、2016年のリオ五輪ではデュエットが2大会ぶり、チームでは3大会ぶりのメダルをもたらした。

6. クロージングセミナー・シンポジウム (10:45~12:35)

演題：「生活習慣と成績の関係 ～ 食べることや寝ることの大切さ ～」

講師： 中村 克樹 氏

(京都大学 霊長類研究所 神経科学研究部門 高次脳機能分野 教授)

子どもの学力に関して、遺伝や親の年収が大きく影響しているという報告があります。もちろん日常的にどのくらい勉強しているのか(勉強時間)も影響が大きいです。その一方で、生活習慣もさまざまな学力に影響していることがわかってきました。ここでは、睡眠と食事の2つをとりあげ、どのように学力に影響すると考えられるのかを解説しながら、生活習慣がいかに大切かを考えます。

後半部分は、パネリストを交え、この国の教育の未来、全附P連の役割などについて
討論し、第8回全国大会の総括を行う予定です。



中村 克樹氏 プロフィール

大阪府高槻市生まれ。京都大学理学部卒業。京都大学博士（理学）取得。京都大学霊長類研究所助手・助教授、国立精神・神経センター神経研究所部長を経て、現在、京都大学霊長類研究所教授。

PET や MRI などの装置を用いてヒトの脳活動を計測したり、サルの脳の電気活動を解析することにより、情動や記憶に関わる脳の働きを調べてきた。また、子どものコミュニケーション能力の発達に関しても研究してきた。

近年は、コモンマーモセットという小型のサルを対象として、ヒトの精神疾患の理解や治療法の開発を目指す研究を行っている。

旅行に行って、温泉に入り、美味しいものを食べて、美味しいお酒を飲むのが好き。

< 会 場 > ハイアットリージェンシー東京（地下1階 宴会場）

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 2-7-2 TEL 03-3348-1234



アクセス

- * JR 新宿駅西口より
徒歩10分
(西口小田急ハルク前より
無料シャトルバス20分
毎運行)
- * 都営地下鉄大江戸線
都庁前駅 A7 出口徒歩1分
(C4 連絡通路経由)
- * 地下鉄丸ノ内線西新宿
駅より徒歩4分
- * 羽田空港より直行リムジ
ンバス 約40~70分
(首都高速道路状況に
より変動)

全附P連 P T A研修会 第8回全国大会 参加申し込み方法

1. 参加登録（申し込み）方法

全附連HP (<http://www.zenfuren.org/>) の P T A研修会全国大会参加申し込みフォームボタン から参加登録してください。「学校 ID : PDF」をクリックし、PDF ファイルを開き、学校 ID 番号をご確認いただき、ご登録ください。

パスワードは、各学校園にて設定をお願いします。

*パスワードに関して：昨年使ったパスワードも使用できますが、再設定が必要です。

また、忘れないよう適切な管理をお願いします。万一、忘れた場合は、HP参加申し込みフォームの最下段「パスワードを紛失された方」よりご連絡ください。

2～3日中に回答させていただきます。

*初回入力や登録内容の確認・変更は、全附連事務局を通さず、各学校側でできます。

参加者情報を入力いただくと、参加者情報確認画面・請求金額確認画面等が確認でき、入力情報の自動返信もあります。

2. 参加登録（申し込み）期間：平成29年7月10日（月）～7月25日（火）

3. 登録料ならびに参加費

学校登録料（幼稚園、特別支援学校は無料）・・・25,000円/校
個人登録料（ " ）・・・1,000円/人

*特別支援学級は、支援学級保護者のみが参加の場合、上記2項目は無料

9月29日情報交換会（交流会）参加費・・・8,000円/人

*なお、会場の都合上、収容できない人数の登録があった講演は、人数制限させていただきます。あらかじめご了承ください。

4. 費用の払込期間：平成29年7月10日（月）～9月15日（金）

上記の期間内に、同封のゆうちょ銀行払込取扱票にてお振込みください。
払込手数料は貴校園にてご負担ください。

*払込取扱票を紛失の場合は、ゆうちょ銀行備え付けの用紙に、口座記号番号と加入者名（下記）の他、裏面の記入例を参考に、必要事項を楷書体でご記入願います。

口座記号番号 00100-6-360331

加入者名 全附P連P T A研修会全国大会

5. お申し込み後の参加登録内容の変更について

参加登録内容の変更は、払込期限の9月15日（金）まで行えます。

*HP参加申し込みフォームの中段「登録情報の変更・追加・削除」から、参加者の登録内容の修正が期間中いつでもできます。また、変更内容の自動返信もあります。

*参加登録内容が変更になる場合は、可能な限りの修正をお願いします。

*費用の払込期限後（9月16日以降）のキャンセル・返金については、会場手配の都合上、応じかねますので、ご理解の程お願いいたします。また、返金が生じた場合は9月19日（火）以降に対応いたします。

6. お問い合わせ窓口 pta_kensyukai@yahoo.co.jp

*本研修会に関するご質問は、全附連事務局ではなく、まずはこのアドレスへメールでお問い合わせください。数日中には回答させていただきます。

●同封の「払込取扱票」を紛失された場合は、ゆうちょ銀行に備え付けの用紙をご利用いただき、記入例のように必要事項を明記して払込手続きをお願いします。

「払込取扱票」の記入例 ●楷書体でご記入くださいますようお願いいたします。

※口座記号番号と加入者名をご記入願います。

◎払込金額もご記入ください。

通信欄に貴学校園名（または学校ID）と払込金額の内訳・合計をご記入ください。

払込取扱票

口座記号 番号はお間違のないよう記入してください。

00	口座記号	口座番号 (右詰めで記入)	金 額	千 百 十 万 千 百 十 円
	00100	6 360331	70000	
加者名	全附P連PTA研修会全国大会			
参加費用	学校名: 東京〇〇大学附属△△△学校	金額		
内 訳	学校登録料	25,000円(幼稚園、特別支援学校は無料)	¥25,000	
	個人登録料	1,000円×(5)名 (幼・特支は無料)	¥5,000	
	情報交換会 (交流会)参加費	8,000円×(5)名	¥40,000	
	合計		¥70,000	

〒1XX-0000
東京都〇〇区△△△町1-2-3
東京〇〇大学附属△△△学校
副校長 鈴木 一郎 様
(ご連絡先電話番号 03-XXXX-XXXX)

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	00100	6	金 額	千 百 十 万 千 百 十 円
	360331		70000	
加入者名	全附P連PTA研修会全国大会			
おなまえ	東京〇〇大学附属△△△学校			
ご依頼人	東京〇〇大学附属△△△学校			
料 金	(消費税込み) 日 附 印			
備 考	円			

この受領証は、大切に保管してください。

ご依頼人の欄も必ずご記入ください。

なお、恐れ入りますが、払込手数料は貴校園にてご負担をお願いします。「払込取扱票」による手数料は下記のとおりです。

	払込金額	5万円未満	5万円以上
通常払込	ATM	80円	290円
	窓口	130円	340円

注) ATMでは、送金額が10万円を超える現金による払込はできません。